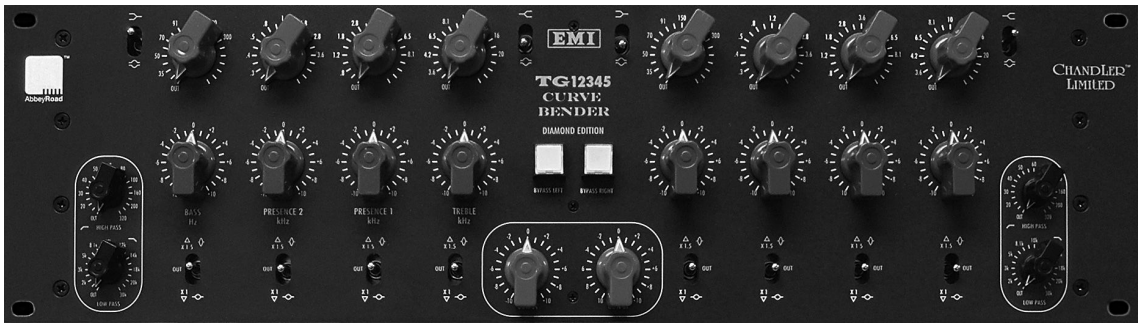
EMI AbbeyRoad CHANDLER LIMITED

TG 12345 Curve Bender



取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

このたびは CHANDLER LIMITED　TG 12345 CURVE BENDER をお買い上げいただき誠にありがとうございました。EMI TG12345 Curve Bender はアビィロードスタジオ 75 周年を記念してリイシューされました。CHANDLER LIMITED のデザイナーであるウェイド・ゴークと Abbey Road Studio のピーター・コビンはあの The Beatles や Pink Floyd の歴史的名盤をレコーディングした TG12345 コンソールをベースに新たな性能をプラスした最高のアナログ EQ を開発したのです。

EMI でのアナログ EQ 開発は 1954 年の RS57 に始まり EMI のデザイナー達が親愛をこめて Curve Bender と名付けた 1969 年の TG12345 や 1974 年の TG12412 へと発展、最新バージョンである本機は最高にオーガニックな当時のサウンドはそのまま、現代のレコーディング環境に必要な性能や機能を追加しています。

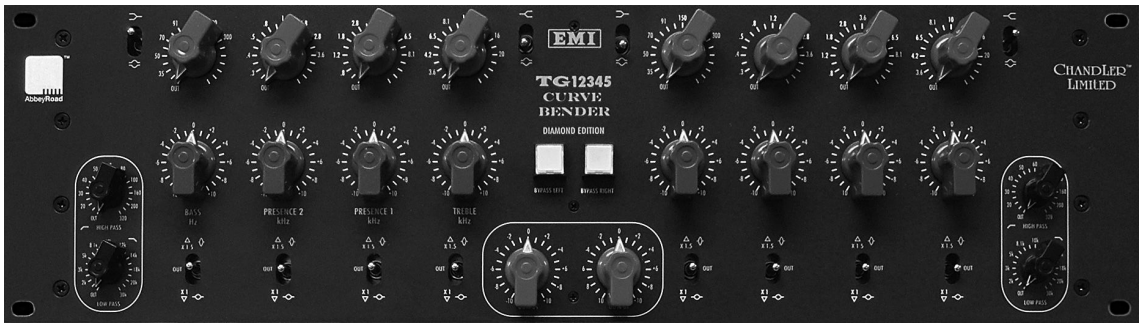
Abbey Road Studio のピーター・コビンは Beatles の Anthology や Yellow Submarine(Remix)のミックス作業にオリジナルの TG コンソールの EQ を使用しています。彼は長年の間オリジナル TG コンソールの素晴らしいアナログサウンドに更なるフレキシブル性を持たせられないかと考えていたのです。ウェイド・ゴークと Abbey Road が正式に提携した後このプロジェクトは動きだしたのです。
オリジナル TG デスクの EQ が持つスロープやポジション、音質は完璧に再現されたうえ、オリジナルでは 2 バンド/9 ポジションのみだった EQ ポイントは 51 もの EQ ポイント（4 バンド EQ+フィルタ）に、ブースト/カット幅や Q シェイプ切替などについても大幅に拡張されました。

ゴージャスで素晴らしい EMI/Abbey Road Studio のビンテージサウンドがモダーンレコーディングの世界に帰ってきたのです！

■Circuit Design by -- Wade Goeke (Chandler Limited)
■Concept -- Wade Goeke、Pete Cobbin(Senior Recording Engineer, Abbey Road Studio)、Simon Cambell（Senior TEchnician,EMI Studios Group)、
■Front Panel Layout -- Wade Goeke、Pete Cobbin、Simon Cambell、Tom Eilliams、David Holley(Managing Director,EMI Studios Group)
■Based on original circuit designs by Mike Batchelor

NOTE ON FRONT PANEL LABELING

本機のフロントパネルの表記には白でプリントされた部分と黄色でプリントされた部分があります。白のプリントの部分は完全に VINTAGE の Curve Bender に同じ箇所、黄色は今回 WADE GOEKE とアビィロードスタジオの PETE COBBIN 氏によって拡張された（ビンテージのオリジナルユニットにはない）機能を表しています。ユーザーはあの時代のサウンドとセッティングを呼び出すことも、新たなセッティングを試すことも可能です。



CONTROLS

BYPASS

Curve Bender を LEFT/RIGHT 独立でバイパスできます。ビンテージ TG MK1 コンソールを再現したゲルマニウム・ラインアンプは EQ と入力アンプのバイパス時にも回路に残ります。これにより Curve Bender のリッチなビンテージテイストだけをコントロール可能です。

HIGH PASS / LOW PASS

オリジナルの Curve Bender はパスフィルターを内蔵していませんでしたが本機には搭載されました。熟考された周波数セレクションにビンテージ TG ユニットの回路構成が応用されています。

High Pass – 20、30、40、50、60、80、100、160、200、320Hz　(Gentle Slope、-6dB/oct)

Low Pass – 30、20、18、14、10、8.1、5、3、2kHz　(Gentle Slope、-6dB/oct)

OUTPUT GAIN

トラディショナルな TG ユニットと同じく +/-10dB を 1dB ステップで増減できる出力ゲインを装備。マスタリング品質の精巧さと音質の為にゴールドコンタクト/最高品位のハンドワイヤーのロータリースイッチが使用されています。

BOOST/CUT and MULTIPLY SWITCH

オリジナルの TG ユニットの EQ ブースト/カットは +/- 10dB 1or 2dB ステップです。本機では 1dB ステップで統一されています。またオリジナルの+/−10dB に加え、Multiply スイッチを X1.5 ポジションにすると +/−15dB モードに設定できます。+/−15dB モードでは X1 モード(+/−10dB)に比較してよりアグレッシブなシャープな EQ カーブとなり更なるトーンバリエーションを得られます。

INDIVISUAL BYPASS

上記した MULTIPLY SWITCH をセンターの OUT ポジションに合わせると各 EQ チャンネルを個別にバイパス可能です。

AMPLIFICATION

コアとなる TG12345 Curve Bender のアンプは TG12345 MK1 アンプが基本になっています。これはゲルマニウムトランジスタを使ったアンプ回路が TG12345 の素晴らしいアナログサウンドを決定付けているからです。

TG コンソールバージョン(参考資料)

MK1

オリジナルのプロトタイプです。かの有名な The Beatles の Abbey Road アルバムはこのコンソールでレコーディングされました。1 台しか作られなかった幻の銘機です。

MK2

製作された物のうち英国 Abbey Road Studio にはスタジオ 1、2、3 に計 3 台が、4 台めはモバイルレコーディングセクションに設置されました。この TG コンソール MK2 バージョンのサウンドは John Lennon の Instant Karma、Paul McCartney の Maybe I'm Amazed、George Harrison の All Thing Must Pass など永遠の名曲やアルバムに収められています。

MK1 に採用されていたアンプは MK3 まで引きつがれましたが、MK4 ではシリコンタイプに変更されました。MK4 コンソールでは Pink Floyd の Dark Side of The Moon がレコーディングされました。

MK4 タイプのアンプは CHANDLER LIMITED の TG1、TG2、TG Channel などに再現されています。

GENERAL EQ NOTES

オリジナルのビンテージ TG12345 の EQ ポイントはフロントパネルに白で表記されたポジションで正確に完全に再現されます。また黄色で表記されたポジションは今回拡張されたポジションです。全てのケースにおいてオリジナル EQ のもつカーブが保持されています。

BELL and SHELVING

オリジナルの TG コンソールの EQ は BASS がシングルポイントのシェルビング EQ、TREBLE が 8 ポジションのピーキングタイプでした。これらのカーブは完全に本機で再現されています。さらに本機では BASS/TREBLE 共にシェルビング/ピーキング EQ カーブを切替可能に設計しています。オリジナルのサウンドはもちろん、更なるトーンバリエーションを得ることができます。

EQ ポイント 一覧

Treble

3.6、4.2、6.5、8.1、10、12、16、20kHz (Bell/Shelf カーブ切替、+/−10dB と+/−15dB 切替（+/−15dB の場合は Bell カーブでよりシャープな Q になります）

Presence 1

0.8、1.2、1.8、2.8、3.6、4.2、6.5、8.1kHz(Bell カーブ固定、+/−10dB と+/−15dB 切替（+/−15dB の場合はよりシャープな Q になります）

Presence 2

0.3、0.5、0.8、1.2、1.8、2.8、3.6kHz(Bell カーブ固定、+/−10dB と+/−15dB 切替（+/−15dB の場合はよりシャープな Q になります）

Bass

35、50、70、91、150、200、300Hz (Bell/Shelf カーブ切替、+/−10dB と+/−15dB 切替（+/−15dB の場合は Bell カーブでよりシャープな Q になります）

（参考）

オリジナル TG12345 の EQ ポイント

Treble 0.5、0.8、1.2、1.8、2.8、4.2、6.5、10kHz (ピーキング EQ) + Low シェルフ EQ

CONNECTION

CURVE BENDER の全てのコネクションはトランスフォーマーバランスの 2 番ホットです。

POWER SUPPLY

専用の別売外部パワーサプライ（PSU-1）を使用します。以下のような構成になっています。

Power Pin Out

1) Chassis and Audio Ground

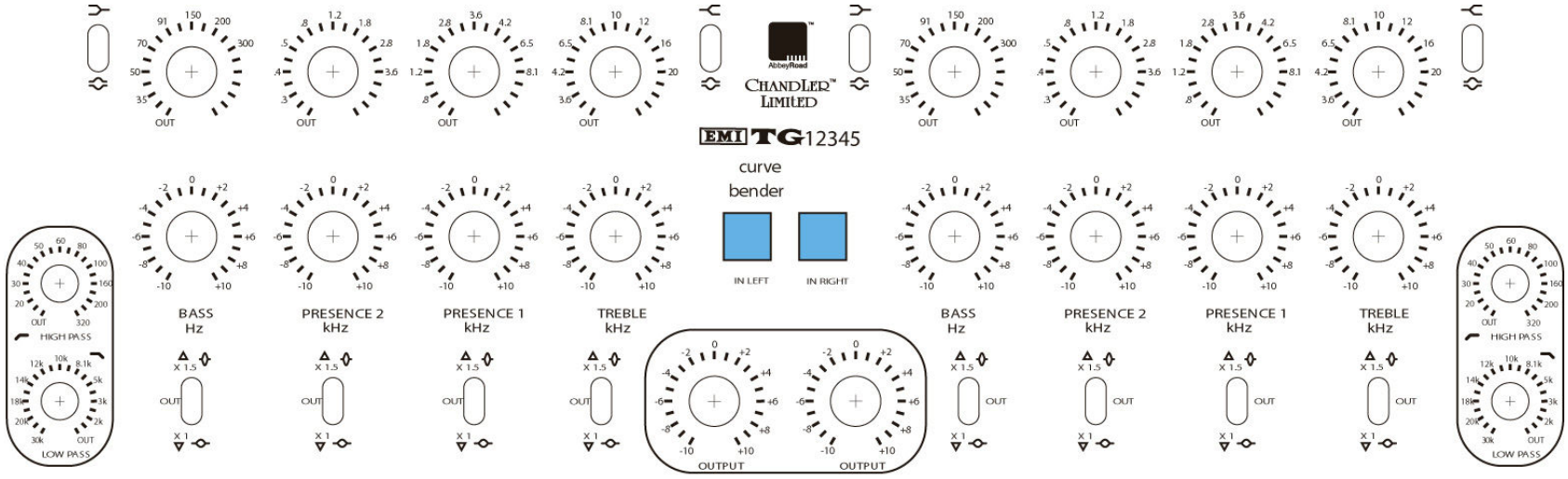
2) 48Volt

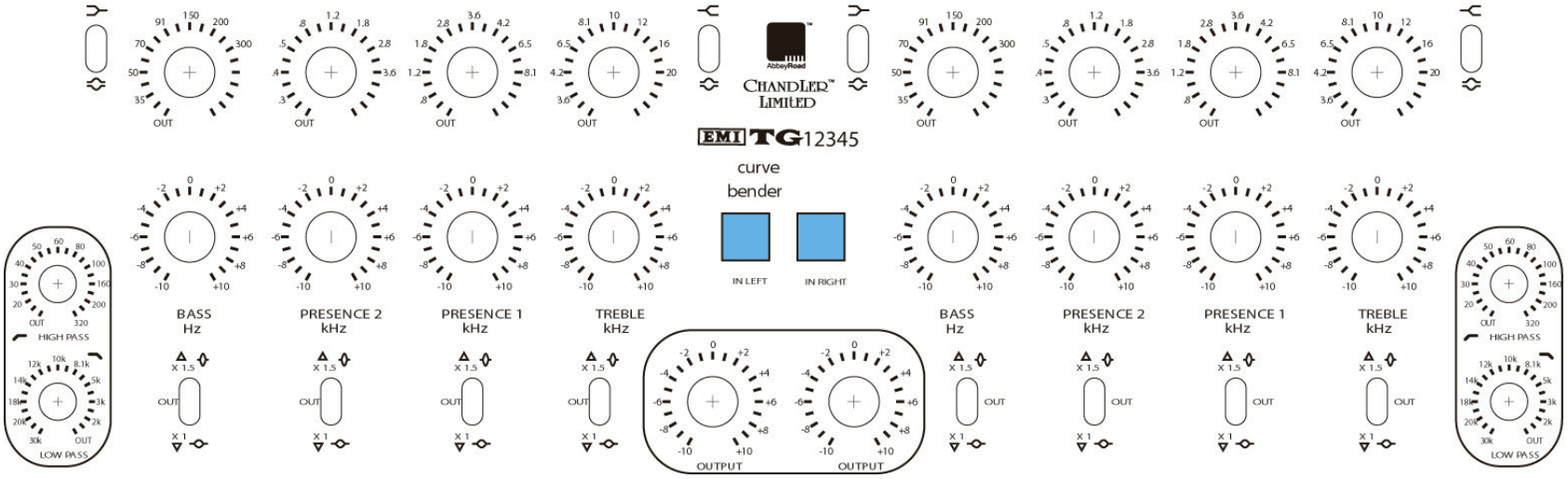
3) +28Volt

4) -28Volt

グラウンドについて

パワーサプライには 2 つの黒色のバナナコネクターが用意されています。ソリッドワイヤーでこのオーディオグラウンドをアースグラウンドに接地させることができます。これは貴スタジオの環境で選択してください。ノイズフロアーの低い方を選択してください。


CHANDLER™ LIMITED
EMI TG12345
curve bender
IN LEFT
IN RIGHT
BASS Hz
PRESENCE 2 kHz
PRESENCE 1 kHz
TREBLE kHz
OUTPUT
OUTPUT
HIGH PASS
LOW PASS
X 1.5
X 1
OUT


CHANDLER™ LIMITED
EMI TG12345
curve bender
IN LEFT
IN RIGHT
BASS Hz
PRESENCE 2 kHz
PRESENCE 1 kHz
TREBLE kHz
OUTPUT
OUTPUT
HIGH PASS
LOW PASS
X 1.5
X 1
OUT